



クマ被害を防ぐ

教育長 津野庄一郎

今週に入り久保と金丸集落にクマ出没の情報が寄せられ、注意喚起の村内放送やメール配信が行われています。昨日の村議会でも高橋正之議員から「クマから村民を守るためのパトロール強化について」の要望がありました。被害に遭わないためにも、警察や関係機関と連携を密にし、地域ぐるみの対応が必要と捉えています。

あらためて子どもたちには、以下の点を踏まえてご指導ください。

- ・一人で行動しないで、友達と一緒に行動する
- ・クマ鈴を身に付ける（通学時など）
- ・クマを見かけたら、近くの民家（大人）に保護をお願いする
- ・クマが近くにいるサインがあったら、その場から離れる
＜^{ふん}糞・^は足跡・クマ剥ぎ（スギやヒノキの樹皮が^{はが}剥されている）＞
- ・山や^{やぶ}藪などでの遊びは控える
- ・クマに出会ったら、背中を向けずに、ゆっくりと後ずさりする
- ・大声で叫んだり、石や棒を投げたりしてクマを興奮させない
- ・襲われそうになったら両手を首の後ろに組み、顔を伏せる姿勢をとる

地域やご家庭では、特に次の 4 点をお願いします。

- ・生ごみや餌となる柿の実を放置しない
- ・隠れ場所や移動経路となる耕作放棄地の藪の草を刈る
- ・クマを見つけたら、警察 110 番通報及び役場農林課に通報する
- ・小中学校園近くの場合は、学校園又は教育課へもすぐに連絡する

新潟県では、「にいがたクマ出没マップ」（検索:必見）を作成していますので、日常生活や行楽等にお役立てください。